

中野好夫先生追悼記念特集号の刊行にあたって

雑誌名	沖縄文化研究
巻	12
ページ	1-2
発行年	1986-03-13
URL	http://hdl.handle.net/10114/00015613

中野好夫先生追悼記念特集号の刊行にあたって

当研究所は、各研究機関、研究者の御尽力に支えられてこの秋で創立十四周年を迎えることとなります。創立以来、東京における沖縄研究のセンターとして機能すべく、現地調査、資料収集、研究を重ねてまいりました。十四年の研究所の歩みは少なからず沖縄研究の発展に寄与できたのではないかと自負しております。これも、ひとえに皆様の御協力のたまものであり、今後、なお一層の御鞭撻を願います。

さて、当研究所創設の直接的契機を作ったおひとりである、英文学者中野好夫先生が昨年二月二十日におなくなりになったことは御存じのことと思います。研究所では、さっそく所員会議において、本年度の研究所紀要『沖縄文化研究』を中野好夫先生追悼記念特集号にすることを決定しました。そして、沖縄資料センター時代、資料収集に尽力された新崎盛暉氏、比屋根照夫氏、我部政男氏らに編集上の相談に乗っていただき、さらに高橋実氏、小宮正弘氏等の御協力をたまわり追悼号の準備にはいりました。

『沖縄文化研究』は、当研究所の紀要であり、編集に際しては論文集という基本方針があります。中野好夫先生の追悼記念特集号を編むにあたり、中野先生への追悼文やエッセーのほかに、占領期の

沖縄の政治・経済・文学を中心とする戦後史論関係の論文を収録し、沖縄現代史研究の新たな展開を期したいと考えました。そのことが沖縄研究所に対する中野先生はじめ沖縄資料センターにたずさわった人々の志に沿うものではないかと考えたからであります。

中野先生と直接、かわりを持った方々、及び沖縄資料センターの精神を広く共有している方々に原稿を依頼しましたところ、編集趣旨を御理解いただき、多くの方々が原稿をお寄せ下さいました。おかげをもちまして、立派な追悼特集号ができあがりました。沖縄現代史研究に一石を投ずる貴重な論文集になったと存じます。御後援に厚くお礼を申しあげます。

本書を中野先生にささげ、研究所に対する温かい御配慮に深く感謝し、謹んで御冥福をお祈り申しあげます。

昭和六十一年三月十日

法政大学沖縄文化研究所